

PRESS RELEASE

2023年12月12日

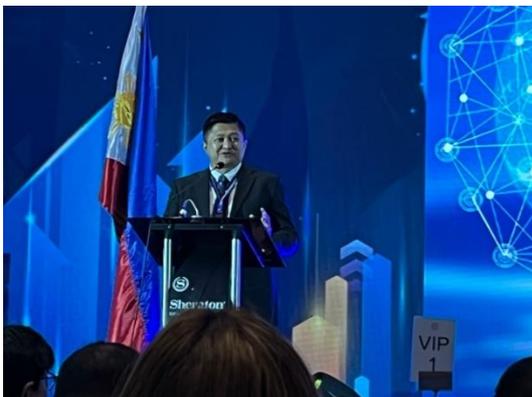
各位

会社名 株式会社Ubicom ホールディングス
代表者名 代表取締役社長 青木正之
(コード番号：3937 東証プライム市場)
問合せ先 コーポレート戦略本部長 北岡明哲
(TEL. 03-5803-7339)

Ubicomホールディングス子会社、AWSがDTI主催の国家輸出週間に出席
フィリピンにおけるIT及びビジネスプロセス管理産業の代表として講演を行いました。

「GO GLOBAL」の理念のもと、フィリピンを中心とした開発拠点を活用し、国内外のグローバル企業とのIT開発パートナーシップを推進する株式会社Ubicomホールディングス（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：青木 正之、証券コード：3937、以下「当社」）の子会社Advanced World Systems, Inc.（以下、「AWS」）のディレクター兼副社長であるヴィンセント・レモ氏が、2023年12月4日～12月7日にかけてマニラのシェラトンホテルで開催された、**DTI主催（通商産業省）の国家輸出週間（NEW）**に参加し、**フィリピンにおけるIT及びビジネスプロセス管理産業の代表として「VUCA時代*におけるIT企業としての当社の成功」というテーマの講演を行い、参加者から高い評価を受けました。**この週間は、フィリピンがグローバルの輸出市場におけるダイナミックな勢力として位置づけられることを目指し、官民共同でのコミットメントを行う重要なイベントです。

※VUCA時代：Volatility、Uncertainty、Complexity、Ambiguityの頭文字から構成される予測不能な現代の経済や社会状況を表す言葉



イベントのハイライトとして、12月7日に行われた国家輸出会議（NEC）では、フィリピンを2028年までに高価値製品とサービスの主要輸出国へと導くという公共部門と民間部門のビジョンが共有されました。今年のテーマ「アジャイルフィリピン：輸出業者をグローバル企業へと導く」の下、400人以上の参加者が集い、さまざまな産業の最前線からの意見交換が行われました。

AWSのディレクター兼副社長であるヴィンセント・レモ氏は、4人の全体会議講演者の一人として、講演を行いました。レモ氏はIT及びビジネスプロセス管理産業の代表として「VUCA時代におけるIT企業としての当社の成功」というテーマの講演を行い、その内容は参加者から高い評価を受けました。また、他のスピーカーと共に行われたパネルディスカッションでは、フィリピンの輸出経済を支えるビジネスセクターの成長についての議論にも積極的に参加しました。

レモ氏は、このプレゼンテーションとディスカッションへの参加を通じて、様々なビジネスリーダーから新たなパートナーシップの可能性についての打診を受け、当社のビジネスネットワークのさらなる拡大を目指します。



<Ubicom ホールディングスについて>

当社グループは、人口増加や内需拡大により力強い経済成長を続けるフィリピンにおいて、国内外の金融/公共、自動車、医療、製造業および流通/小売・サービス業等のお客様の開発パートナーとしてIT開発・DX支援を手掛けています。子会社の「AWS」は、フィリピンにおける日本向けオフショア開発のパイオニアであり、長年の実績に基づくグローバルIT人材の採用・育成ノウハウを有しております。

昨今では**経済安全保障推進法**を背景に、グローバルな供給網のリスクやIT業界におけるセキュリティや知財に係る取り組みが強化され、**国内の人材不足がますます深刻化**するなか、オフショア先としてのフィリピンへの注目がますます高まっています。このような外部環境が当社グローバル事業の追い風となり、足元では**当社グループ創業以来の引き合いの急増**を実感するとともに、中長期的な需要の拡大を見込んでおります。旺盛な需要に応えるため、フィリピンにおけるグローバルIT人材の採用と育成、またAIや医療領域の技術開発への注力を含む、**人的投資や先端技術に係る一層の投資の強化**ならびに当社事業のさらなる拡大を通じたフィリピンの経済発展への貢献と「Ubicomグループ第2成長フェーズ」の推進に向け、今後もフィリピンと当社グループの持続的な相互発展に取り組んでまいります。

以上